

グリーンフィールド

☆10歳のお誕生日おめでとう！☆

田辺市立東陽中学校2年生 三本直生

2013年5月1日、僕はニール・スミスさんからメールをもらった。「グリーンフィールド10周年のイベントにいらっしやい！」というお誘いだった。僕はそれを見て、また鳥取に行く機会ができてとても嬉しかった。

僕が初めて鳥取に行ったのは4年前、小学校4年生の時だった。自分の小学校の校庭を芝生化したくて、夏休みの自由研究で校庭芝生化を取り上げ、グリーンフィールドを視察させて下さいとニールさんに電話でお願いしたのだった。僕が初めて見たグリーンフィールドは、広くてきれいで、思わず裸足になり、駆け出してしまったのを覚えている。走って行った先に、大きな外国人のおじさんが立っていた。それが電話で「どうぞ来て下さい」と言ってくれた、ニールさんだった。



【ミニミニグリーンフィールドに立つ三本直生さん】



ニールさんは、僕に色々な芝生のグラウンドを見せて回ってくれた。僕は和歌山に帰って、自由研究をその後3年間続けた。小学校の芝生化は僕が卒業するまでには無理だったけれど、近所の公園をニールさんやたくさんの人に手伝ってもらって、芝生化した。ミニミニのグリーンフィールドだ☆

4年ぶりに訪れた本家本元のグリーンフィールドは、たくさんの人が自由に好きな事をして楽しんでいた。10歳のグリーンフィールド。サッカーも、ラグビーも、フリーマーケットも、コンサートも、犬の散歩も、ごちそうの屋台も、何でもありの芝生の上で地域の人々の笑顔が溢れていた。それを見て僕は、将来ミニミニグリーンフィールドもこのようにしたい、と思った(ちょっと狭いけど...)。ミニミニグリーンフィールドはまだまだ本家本元と比べるとティフトンの勢いが弱いので、ニールさんに教わったようにもっと肥料を与える回数を増やしてみようと思う。

今回僕が鳥取で誰よりも一緒にいたのは、犬のえびすだった。芝生でずっとえびすと散歩しながら、僕は、10歳になったミニミニグリーンフィールドの姿をちょっと想像していた。



3回目の芝生化アカデミー @芝楽フェスタを開催しました

平成25年9月29日(日)、好天に恵まれて第3回目の「鳥取方式の芝生化」第3回芝生化アカデミーを開催しました。

全国から40名もの方にご参加いただき、午前中には実際に芝生化した学校や場所を視察し、地元の方や行政関係者と意見交換を芝生の上で行いました。また午後には「芝生管理講座」と題して、10周年を記念した「芝楽フェスタ」を開催中のグリーンフィールドにて、芝刈り機などを実際に使い、芝生管理のノウハウを学ぶ講座を開きました。

県外からも20名ほどのご参加をいただき、「鳥取方式の芝生化」について理解を深めていただけたことと思います。

県外の教育委員会の方は、「地元でも芝生化できそうな気がしてきた」と仰っていましたし、マスコミの方にも取りあげていただきました。

前日には、「鳥取方式の芝生化全国サポートネットワーク」総会も開かれ、毎年ご参加いただいている方には「同窓会のように楽しみにしていた」と1年ぶりの再会を喜んでおられました。10周年を迎えたグリーンフィールドとともに、3回目の総会を迎えた鳥取方式の芝生化全国サポートネットワークも実りある季節を迎えています。(事務局:岩谷)



←芝生化
アカデミー
現地視察
の様子



鳥取方式®の芝生 維持管理カレンダー

鳥取方式®の芝生維持管理カレンダー

ティフトンの芝生(冬シバを9月下旬にオーバーシーディングした場合)

	10月		11月		12月		1月		2月		3月				
	芝刈り	施肥*	芝刈り	施肥*	芝刈り	施肥*	芝刈り	施肥*	芝刈り	施肥*	芝刈り	施肥*			
第1週		1回 (30kg)		1回 (30kg)		1回 (20kg)		1回 (20kg)		なし		1回 (20kg)			
第2週			1回				1回								
第3週	1回 (5cm)								1回				0回		1回
第4週	1回		1回				1回								

※ 施肥は1,000㎡あたりの標準散布量(14-14-14%化成肥料)

<管理のポイント>

○10月(冬シバ播種直後の養生と最初の芝刈り)

- ・冬シバ(インターミディエイトライグラス)の種子は一粒2mgで非常に小さく、また発芽直後の幼植物は柔らかく踏圧や擦り切れに弱いので、播種後少なくとも1カ月間は養生期間として利用を減らす。
- ・播種後しばらくは芝刈りを行わず、3週間経過して葉が2枚~3枚出たところで、刈り刃をやや高め(地上5cm)に設定して芝刈りを行う。順調に冬シバを生長させて利用に耐える芝生に育てるために、施肥と散水は十分に行う。芝刈りの間隔が長くなる時期なので、この頃に刈り刃の研磨・交換と芝刈り機の点検(代理店に依頼)をする。

○11月~2月(低温期の冬シバの管理)

- ・気温の低下に伴って冬シバの生長も遅くなるので、芝刈りの間隔はそれに合わせて長くしてよいが、刈り刃の高さは常時一定(地上4cm)とする。施肥は原則として月1回実施し、生育量が小さくなる冬は施肥量を少なくし、真冬の2月は施肥を省いてもよい。11月以降の散水は原則として不要。(但し、表日本で特に乾燥する場合は適宜散水する)

○3月(冬シバの生育再開後の管理)

- ・3月になると冬シバの生育が再び活発になるので、芝刈り(地上4cm)を再開する。
- ・2か月近く芝刈りをしない場合には、場所によって芝生の長さが大きく異なることがあるので、長く伸びている分は必ず芝刈りを行う。降雨や朝露で湿っている場合でも、回収せずに刈り落しでもよいから刈り遅れしないように芝刈りし、地際まで光が当たるように心がける。

『芝生の国からこんにちは。~芝・楽・遊ぶ~』事業を終えて

公益社団法人鳥取青年会議所

2013年度地域ブランド確立委員会委員長 石川陽介

本年度、私たち「地域ブランド確立委員会」は、『鳥取=芝生』のブランドイメージを因幡地域に留まらず、全国に発信、また、発信を継続する仕組み及び関係を構築することで、ブランド確立の一歩となると考え活動しました。

様々な視点から協議した結果、フライングディスクというスポーツにたどり着きました。フライングディスクは子どもから大人まで遊べるスポーツであり、生涯スポーツとしても注目を浴びつつあります。その中でも芝生環境の良さを十分に発揮できる競技であるアルティメットを普及させることで、自然と芝生環境が必要とされ、相互に普及するのではないかと結論を付けました。

本事業を通じて構築できた日本フライングディスク協会と鳥取方式®の芝生化全国サポートネットワークとの繋がりが構築できました。この繋がりを十分に活用することで、『人と人の環』を広げながら、『未来の光』である因幡地域の子もたちへの芝生環境の構築、更には全国の子もたちへの芝生環境の提供がスポーツの普及と共に広がることを強く願います。

最後に、事業にご協力いただきました関係者の皆様に感謝申し上げます。



【フライングディスク協会による視察】



■ お問い合わせ先 ■

鳥取方式の芝生化全国サポートネットワーク事務局 (鳥取県未来づくり推進局鳥取力創造課内)

電話: 0857-26-7248 E-mail: office@tottoristyle-shibafu.org

URL: <http://www.tottoristyle-shibafu.org/network/>

※「鳥取方式®」はNPO法人グリーンスポーツ鳥取の登録商標です